

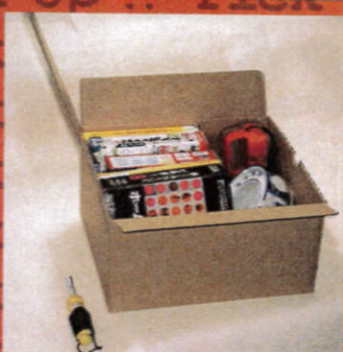
# 防災 mono ピックアップ!! 3

## 四国防災 家具転倒防止BOX耐震君

耐震君は自動車用の1トン・ジャッキが仕込まれた「ジャッキBOX」と「収納BOX」で構成。種類の組合せにより「家具と天井のスキマ」が21~94cmまでの範囲で使用可能。ジャッキアップすることで35×40cmの面全体で突っ張り天井と家具が一体化。価格7450円~9180円（詳しくはHPで）◎四国防災

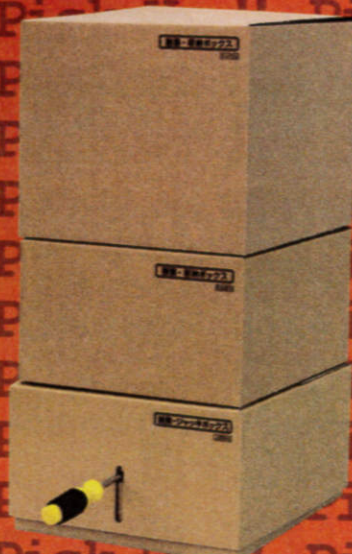


### 《使用例》



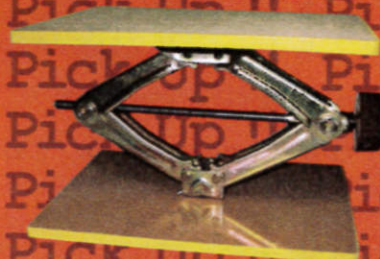
つばりタイプの転倒防止器具と違い、収納ボックスの面全体で支えるので安定性が高い。会社や公共施設にあるキャビネット等の転倒防止対策にも。

設置はジャッキBOXの外側から付属のドライバーを使って高さ調整するだけ。強化芯を使用した収納BOX（高さ30cmの場合）には約8kgの収納力がある。



↑「E20+30セット」  
価格9180円（スキマ71~84cm用）

スキマ11~30cmまで対応



家具と天井のスキマが11~30cmまでの範囲で使用可能なジャッキのみの耐震君「J-10」30（4450円）も発売されている。転倒防止器具の効果は転倒を抑止し、逃げる時間が増えること。また、床と家具の間に挟み込む「ストッパー式」の器具と併用すると転倒防止の効果が高まる。家具は凶器と考え、起こる前の対策が必要だ。

収納スペースを増しながら家具の転倒を防止する、二石二鳥の良策。

阪神淡路大震災では就寝中に家具の下敷きになり、逃げ遅れたり、そのまま死因となってしまうケースが多かったという。その教訓から、なるべく寝室には背の高い家具を置かない、必ず転倒防止の器具をセットするなどの新しい常識が生まれた。しかし専用の器具の場合、天井や家具を傷付けてしまったり、場所によっては天井の強度不足で設置できない場合もある。面であぐら張ればその心配も少ない。

「耐震君」は最下段にジャッキの入った高さ21cmのボックス。その上に強度に優れた20cm、30cmの収納ボックスを載せ、天井の高さに合わせて21~94cmの間で微調整するしくみ。使用できる最低高は「ジャッキのみ」の場合、最長高は約21、34cm、最長高は30cmの収納ボックスを2個乗せた場合の81~94cm。心臓部である、ジャッキは耐荷重約1トンの自動車用のものを採用。また上に積み上げる収納ボックスには約8kgまでの収納が可能。普段出し入れの少ない荷物の収納には最適だ。組立済みの完成品で届くため、設置は女性からお年よりまで誰でも簡単にできる。家具の上に「耐震君」を置いて付属のドライバーでジャッキの高さを調整するだけだ。



自宅、オフィス、工場などのパソコン、家具等の転倒防止、精密機器やモーター類の振動・防音など、プロセブン耐震マットは様々な用途に活用できる。例プロセブン

## テレビ、ダンス、本棚、食器棚…… 様々なモノに対応する耐震マット

### Pro7 プロセブン耐震マット

プロセブン耐震マットは固体と液体の両方の性質を併せ持つゲルに、粘着性と低反発弾性をプラスした新素材。この柔軟性と粘着力により、あらゆる揺れに追従し、優れた振動対応能力を発揮。サイズ違いに対応するモノも違い、この「P-N50L（価格3240円）」は、50×50×5mmのマットが4枚入り。テレビ、ダンス、本棚、食器棚、キャビネット等々と、適応範囲は広い。耐荷重100kg、震度7耐震試験合格品。